

職員倫理綱領

特定非営利活動法人 横須賀つばさの会
就労継続支援B型事業所 つばさ・つばさ第二

前文

特定非営利活動法人 横須賀つばさの会は、日本国憲法、障害者権利条約、障害者基本法、障害者差別解消法および虐待防止法に基づいて倫理綱領を定め、私たちの規範とします。

私たちは、利用者の尊厳と誇りを最大限に尊重し、公平と公正の上に立つ施設運営および利用者支援の充実・発展に努め、社会の一員として支え合い、誰もが生きがいを持ち生活できる社会の実現を目指します。

私たちは、支援者のひとりとして、確固たる倫理観をもって、その専門的役割を自覚し、自らの使命を果たさなければなりません。

□生命の尊厳

私たちは、利用者一人ひとりを、かけがえのない存在として大切にします。

□人権の擁護

私たちは、利用者一人ひとりに対し、いかなる差別、虐待、人権侵害も許さず、人としての権利を擁護します。

□社会への参加

私たちは、利用者が、年齢、障害の状態等にかかわらず、社会を構成する一員としての市民生活を送れるよう支援します。

□専門的な支援

私たちは、自らの専門的役割と使命を自覚し、絶えず研鑽を重ね、利用者一人ひとりが豊かな生活を実感し、充実した人生を送れるよう支援し続けます。

□虐待防止・身体的拘束について

- ・虐待防止委員会規程
- ・虐待防止対応規程(マニュアル)
- ・身体拘束適正化のための指針

以上

職員行動規範

特定非営利活動法人 横須賀つばさの会
就労継続支援B型事業所 つばさ・つばさ第二

1. 利用者様の人格尊厳の尊重

- ・利用者様を好き嫌いで判断し、態度や言葉に出してはいけない。
- ・利用者様一人一人のニーズに応えるよう、支援の工夫と努力をする。
- ・障がいの状態・行動・性格・年齢その他、いかなる理由においても差別してはならない。
- ・利用者様を呼び捨てや愛称、命令口調で呼んだり、子ども扱いしないようにする。
- ・利用者様の訴えに対して無視したり、拒否的な態度をとらない。
- ・利用者様の性の問題から目をそむけないようにする。

2. 虐待の禁止

- ・相手の個性を尊重する視線を持ち、相手の立場に立った思いやりのある支援を行う。
- ・いかなる理由があっても、利用者様に身体拘束等の肉体的・精神的苦痛をあたえてはいけない。
- ・「障害者虐待防止法」を遵守し、日々の支援に生かすようにする。(虐待防止法参照)

3. 秘密主義の厳守

- ・緊急性のある場合を除き、どのような場合においても第三者に利用者様の情報を話してはならない。
- ・職を辞した後も情報をもらしてはいけない。
- ・職員同士で利用者様の情報を伝達する場合、時間・場所・内容に注意すること。

4. 利用者様の生活環境の保持

- ・利用者様が安心・安全・快適に過ごせるよう、生活環境を整える。
- ・危機回避を予測しながら行動に努める。
- ・日課、予定等の変更は、利用者様が不安定にならないように伝えなければいけない。
- ・季節、気温等、その方に合わせた快適な環境を整えること。

5. 利用者様・保護者様に対する情報開示

- ・体調不良やケガの場合は、速やかに家人に連絡しなければならない。
- ・利用者様、家族の方に対して個人的感情を出さないこと。
- ・職員が一方的に決めるのではなく、保護者様の思いをくみとり、決定開示しなければいけない。

- ・利用者様の気持ちにそった支援、またそれに伴い、必要な情報は利用者様・保護者様に伝えていかなくてはならない。

6. 利用者様に対する専門的支援

- ・職員一人一人が、個別支援計画にそった支援を行い、職員間においても支援目標を共通理解していること。
- ・利用者様の特性を理解し、相手の立場に立って支援、考えを持たなくてはならない。
- ・障害者福祉の専門職であるという自覚を持ち、日々の支援を行うようにすること。

7. 自己研鑽

- ・日々、自分の支援のあり方を振り返るようにする。
- ・自分の可能性は無限である事を理解する。
- ・常に謙虚な気持ちで接し、相手の気持ちを思いやる人間性を育み、養うようにする。
- ・自分一人の考え方だけでなく、まわりの意見も考慮して行動する。
- ・今の自分、環境に満足せず、よりよい明日のために何をすべきか考える。

8. 職員間の連携・規律

- ・互いに思いやる気持ちを忘れず、親しき仲にも礼儀ありの精神を心がける。
- ・職員同士の私語に没頭してはならない。
- ・基本的なあいさつや声かけ、話し方が乱れないように心がける。
- ・利用者様第一に考えた連携の中においても、職員の気持ちを思いやる事を忘れない。
- ・職員全員が共通した支援の方向性、職員間の連携、規律が持てるように確かめ合う。
- ・相手の事を考え、伝えるべき人に伝える。
- ・仕事の流れの中で、何が自分に出来るかを考えて行動する。
- ・謙虚にして驕らず、良き事を思い、良き事を行う。
- ・仕事上の私的な携帯電話の使用は出来る限り控えるようにする。

以上